

もみじ

106



発行：放送大学福島学習センター
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<https://www.ouj.ac.jp>

—もみじの由来—

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

お知らせ



- ◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターホームページに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

システムWAKABA

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

福島学習センターホームページ

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

【卒研ガイダンス日程変更のお知らせ】

卒研ガイダンスですが、日程が以下のように変更になります。お間違えのないようにご確認ください。

2024年6月29日(土) 13:30~15:30 ⇒ 2024年7月6日(土) 13:30~15:30 於福島学習センター

◆学習センター閉所日について

福島学習センター及びいわきサテライトスペースの閉所日

(2023年度より、いわきサテライトスペースの閉所日は祝日等以外、月・火曜日となっております)

毎週月曜日及び祝日・7月23日(火)・8月11日(日)~18日(日)・9月17日(火)・9月22日(日)

※10月以降の臨時閉所日については、次号以降お知らせします。

◆図書・視聴学習室からのお知らせ

単位認定試験の実施に伴い、7月2日(火)~7月21日(日)まで図書の館外貸出を停止します。(夏季集中科目生は通常通りの館外貸出が可能です)

◆次学期に向けての手続き

- 次学期も学籍が続く方は、8月15日(木)~8月30日(金)〈本部大学必着〉の期間内に科目登録申請票(WAKABA申請可)を郵送してください。
- 今学期で学籍が切れる方で次学期も学習を継続される方、再試験を受ける方は、8月31日(土)〔第1回〕、9月10日(火)〔第2回〕〈大学本部必着〉まで継続入学出願票又は一般の学生募集要項(ネット出願可)を郵送してください。

◆機関誌「もみじ」及び「利用の手引き」の配布方法について

配布方法については、福島学習センターホームページ内の「機関誌紹介」及び「各種お手続き」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望の方はホームページ参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/procedure/>



ハタチ酒とダイバーシティ

山田 紀浩

5月初めに田植えをしました。「いわきハタチ酒プロジェクト」という企画に応募したゼミ生たちと共にスタッフとしての体験です。現地にはカナダ、アメリカからの4人のALTを含む28人が集合し、田植えの指導者は83歳の元気な田主でした。

田植えは30年ほど前に韓国で経験したことがあります。留学先での学友の実家の手伝いでした。ところで韓国では80年代初頭まで米の自給率が100%に至らず、味よりも量を目的に“統一米”という品種を全国一斉に生産しました。こうした米生産事業は強い中央政権主導下でのしかもセマウル(新しい村づくり)運動の真只中で、地方自治制度もなかったためにできたようです。民主化が進んだ現在は地域米の開発も進み、米の味からも地域自治の大切さを考えさせられます。

さて「いわきハタチ酒プロジェクト」の田植えでは、伝統的な手植えと田植え機を使用した両方を体験できました。手植えでは、初めこそ童心に帰った泥遊び感覚で元気よくしていましたが、段々と慣れぬ姿勢と田んぼの広さに圧倒され、黙々と終了の目印を目指す作業になっていました。大変な労力と実感です。機械を使用した田植えでは、まず田植え機の説明でしたが、その性能に驚きます。自家用車も安全機能が発達し、近未来には全自動になると言われますが、農機具においても同じです。近い将来に夜のうちに機械が田植えを終える時代が訪れそうです。またドローンとAIを駆使したピンポイントな種・肥料まき、生育・病気チェックなど、科学技術の発展に伴うスマートな農作業が目前に迫っているようです。

現代の日本社会は少子高齢化が進行し、社会サービスの維持と向上のためには、外国人労働者と科学技術の発展に頼らざるを得ない面があります。農村地域でも懸念が多々ありますが、その不安払拭のための産業技術は日進月歩しています。ところで、「ハタチ酒プロジェクト」には、地域の伝統体験が要所にありますが、地域の伝統技を若者たちに繋げ、外国人を含む他地域に情報発信したい大切な思いが垣間見れます。

こうした老若の世代間交流や外国人との異文化交流、そして進化する科学技術に対応していく姿勢は、現在の日本社会が抱える少子高齢化による人口減少対応の一つかもしれません。ただこの課題は、ダイバーシティに対応すべく皆で試行錯誤を重ねるべきものですが、主体はあくまで地域住民です。

ところで田植え指導者の83歳の田主は「ゆうだい21」と「酒米」の2品種を生産しています。ゆうだい21は福島県では天栄村とこの田んぼのみで生産している米です。食べると粒がしっかりしている「ザ・米」という食感です。最近流行の甘く柔らかいものではありません。この田んぼから造られるハタチ酒も最近流行のフルーティな日本酒ではない「ザ・酒」になるのではと想像します。フルーティな酒も好きなのですが、どっしりとした伝統酒を楽しみにハタチ酒造りに取組むこともダイバーシティ社会に対応することなのかもしれません。

令和5年度第2学期 卒業証書・学位記授与式

令和6年3月30日(土)福島学習センター、3月31日(日)いわきサテライトスペースにて卒業証書・学位記授与式が行われ、卒業を迎えられた43名のうち17名の出席がありました。

学歌斉唱後、中田所長から一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡され、お祝いの式辞がありました。

続いて卒業生を代表して、福島学習センターでは斎藤芳久さん、いわきサテライトスペースでは夏井さつきさんが「御礼のことば」を述べました。

なお、今回の卒業生の中には教養学部の全コース(または専攻)を修了した名誉学生が2人おり、その中の1人である斎藤芳久さんの表彰も行われました。

ご卒業おめでとうございます



※延べ卒業生数 大学院61名 教養学部1,044名
(いわきサテライトスペース卒業生数含む)

令和6年度第1学期 入学者の集い

卒業証書・学位記授与式に引き続き、令和6年度第1学期入学者の集いとオリエンテーションが行われました。中田所長の挨拶の後、オリエンテーションでは放送授業、面接授業、オンライン授業、施設の利用方法、単位認定試験の勉強法、客員教員ゼミや所長カフェ等の説明が行われ、新入生の皆さんは熱心に聞いておられました。



御礼のことば

斎藤 芳久

やわらかな日差しがそそぎ、春の訪れを感じる今日この頃、本日卒業します私たちのために「卒業証書・学位記授与式」を挙行された中田所長をはじめ、ご参列をいただきました皆様に対しまして、卒業生を代表し、心より感謝申し上げます。

さて、私事ではありますが、この卒業で晴れて6コース全て満了となりました。初めて入学したのは2004年でしたので、丁度20年間かかったこととなります。自分なりに驚いているのですが、なぜ20年間も続けられたか改めて考えてみました。一言でいえばイベントごとにドキドキワクワク感があるから、そして自分なりの達成感があったからではないかと思っています。

最初のワクワク感は、入学を決意したときです。何度か募集要項を取り寄せては、決心が着かず見送っていましたが、一念発起とにかく飛び込んでみました。はじめは何も分からず、周りの学生やセンター職員の皆さんのアドバイスを受けたことも多々ありました。次はコースを選ぶときです。最初のコース選択は仕事に関わるコースを選びましたが、次のコースを何にしようか考えるときも楽しい期間でした。その次は科目を選ぶときです。仕事の関係から休みの土・日の試験日を中心に科目を選びますが、ついつい欲張って選んでしまって、後から減らしてみたり、また増やしてみたりというワクワクの期間でした。次はテキストが送られてきたときです。実際の内容はどうであろうか。講師はどんな方でどんな話し方をするだろうか。新しいテキストを手に取り、1ページ目をめくるときのワクワク感も忘れ難いものです。そして、何といっても単位認定試験。このときのドキドキ感はMaxです。特に記述式解答となるとき、つい手が震えてとても読めそうもない字となったこともありました。最後は試験結果発表のときです。残念ながら単位を落とした教科もありました。次回のリカバリー試験で合格することもあればそれでもだめなこともありました。ある教科では、4度目の試験でAを取ったこともあり、そのときはとてもうれしく感じたことが記憶にあります。

それらの繰り返しと積み重ねの思い出が、今の達成感に繋がっているのだと思います。

更に授業以外でも、入学以来サークル活動として「登山サークル」に所属しておりました。これも20年も続けてきたかと思うと感慨ひとしおです。

その中でも、幹事となり企画に関わるようになったのが2012年からの11年間で、兩等で中止になったものも含めると延べ143回の開催となります。参加できなかった山行もありますが、努めて参加するようにはしてきました。

高い山や低い山や近い山や遠い山、更には四季など、織り交ぜて企画しておりますが、やはり記憶に残るのは高い山・遠い山となるでしょうか。みんなで励まし合いながら登り、山頂からの景色、山小屋での語りなど忘れられないものがあります。また大阪学習センターの皆さんと安達太良山に登ったこともつい昨日のように思い出されます。

今後もしばらくは、科目履修生として在籍し、登山サークルにも関わっていく予定ですが、今回の卒業からこれらワクワク感が半減してしまうのが、実は残念なところではあります。

生涯教育の観点から、更なる全科履修の制度を作ってもらえればとも思います。

最後になりますが、東日本大震災、昨年9月の台風13号、そして能登半島地震と近年大きな災害が目の前で起こっており、本学生でも被害に遭われた方もおられるとされます。心よりお見舞い申し上げます。次第です。

いずれにいたしましても、このようなすばらしい環境で学習やサークル活動ができるのも、本日ご臨席の皆様方、そして陰で支えている事務局の皆様のご尽力があってこそと感謝に堪えないものであり、この度卒業する学生も思いは同じと思っております。

改めて、本校の益々のご隆盛と関係者の皆様のご健勝を祈念し、御礼のことばといたします。ありがとうございました。

令和6年3月30日

御礼のことば

夏井さつき

本日は、私達卒業生のためにこのような「学位記授与式」を開催いただき誠にありがとうございます。

私が放送大学に入学したきっかけは、幼稚園2種免許を科目履修生として取得したことです。その時は、保育園に勤めていて、幼稚園2種免許を放送大学で取得できるとのパンフレットをたまたま目にしやってみようと思い、始めました。半年間という短い間でしたが、先生方のご指導で無事取得することができました。

その後、これからの人生を考えた時、もっと深く人と関わる仕事がしたいと考えるようになり、認定心理士という資格があることを知り、目指してみようと思われました。この資格をとるには、大学卒業と指定された科目を履修することが必要ということで、科目表を見ながらひとつひとつ科目

を積み重ねていきました。仕事をしながらの勉強はとても大変なことで、集中力も続かなくなっており、かなり苦戦することもありました。

そんな中でも続けることができたのは、先生方の分かりやすい授業と丁寧なご指導、そして面接授業で出逢った共に学ぶ方々との励まし合いがあったからこそだと思います。

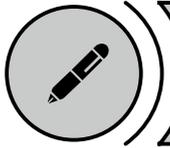
いくつになっても学ぶことができるということを実感できた貴重な4年間でした。

これまで支えて下さった学校関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

ここで学んだことをこれからの人生に活かしていきたいと思っております。

本当にありがとうございました。

令和6年3月31日



公開講演会のお知らせ

いわき

いわき市社会福祉センター



物流業界の「2024年問題」の最新動向

郡山

放送大学福島学習センター講義室

オープンキャンパスも同時開催

要申込 12:30~13:00
【内容】放送大学内容説明・施設見学など



こころの健康と心理的安全性
～日常生活の中の工夫について～

日時／2024(令和6)年8/31(土)

■開場 12:30

■開演 13:00~14:30

会場／いわき市社会福祉センター

演題／物流業界の「2024年問題」の最新動向



講師 石川 友保先生
放送大学客員教授・
福島大学共生システム理工学類
教授

物流業界の「2024年問題」とは、2024年4月1日以降、自動車運転業務の時間外労働時間の上限が年間960時間に規制されることによって生じる諸問題の総称です。例えば、長距離の輸送ができなくなる、輸送できる貨物量が少なくなるといったことが懸念されます。本講演では、「2024年問題」が起きる背景やその影響、「2024年問題」に対する行政や企業の取り組みなどの最新動向を紹介します。

講師／放送大学客員教授・
福島大学共生システム理工学類教授
石川 友保 氏

日時／2024(令和6)年9/1(日)

■開場 12:30

■開演 13:00~14:30

会場／放送大学福島学習センター講義室

演題／こころの健康と心理的安全性
～日常生活の中の工夫について～



講師 五十嵐 敦先生
放送大学客員教授・
福島大学名誉教授

こころの健康とは何でしょうか？生きること、働くこと、すべてストレスへの対処行動です。その反応がストレスであり、つき合い方の工夫が求められます。心理的安全性とは、Edmondson(1999)が「恐れのない組織」を著し注目されました。けっして居心地のいい組織とは限りません。たくましく生きるための工夫とともに、ライフ・キャリア形成とこころの健康について探ってみたいと思います。

講師／放送大学客員教授・
福島大学名誉教授
五十嵐 敦 氏

定員・お申込み・お問い合わせ

■各先着35名(要予約)

※各回とも定員になり次第終了します。お早めにお申込みください。

■事前電話予約

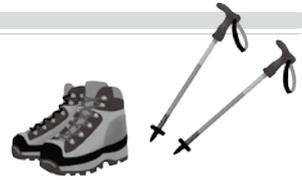
開催地別に電話でお申込みください。

- ・いわき いわきサテライトスペース TEL.0246-22-7318
- ・郡山 福島学習センター TEL.024-921-7471

主催：放送大学福島学習センター 後援：福島県教育委員会・郡山市教育委員会・いわき市教育委員会

学生サークル紹介

福島登山サークル



菊地 弘美

福島登山サークルは、放送大学福島学習センターの学生サークルの一つであり、学習センターが設立された後、時を置かずに設立され、今日まで活動しているサークルです。活動は様々な形態をとっていますが、近年の内容と今年の予定は以下になります。

月	令和4(2022)年	令和5(2023)年	令和6(2024)年
1	活動なし	活動なし	活動なし
2	総会・イエローフォール※	総会・五色沼遊歩道※	総会・雄国山※
3	安達太良山※	安達太良山※	安達太良山※
4	鳥屋山 2A	須刈岳 1B	大滝根山 2B
5	会津駒ヶ岳 3B 蓬田岳 1B	燧ヶ岳※ 3B 三森山 2A	燧ヶ岳※ 2B 三坂山 2B
6	笠ヶ森山 2A	三坂山(雨で中止)	磐梯山 3B
7	浅草岳(雨で中止)	三岩岳 4B	平ヶ岳 4C
8	巻機山 3B	越後駒ヶ岳 4B	白山 4B 槍・穂縦走 4C
9	姥ヶ原・谷地平 2B	水石山 2B	吾妻山(慶応山荘泊) 3B
10	吾妻(不動沢～五色沼) 2B	和尚山(雨で銚子ヶ滝迄)	和尚山 3B
11	高旗山 2A	竜子山 1A	羽山 1A
12	朝日山 1A	高土山 1A	宇津峰山 1A

※自主開催、A～C：技術レベル、1～4：体力レベル(主観的区分を含む)

表からも分かるように、主に福島のを登っています。また日本百名山、二百名山、三百名山などを選び、月に一山程度、年間で12山ほどを計画している感じになります。

山登りは以前からも言われていますが、様々な特色があります。まずは健康維持、それと気力と体力の維持も見逃せないでしょう。自然との接触は人に無限の可能性を与えてくれますし、コミュニケーション能力の向上も期待できると思います。

日常生活と日常の学習に影響を与えない程度で、1～2か月に1山を目指して山登りに挑戦してみませんか？

山行ごとにそれぞれ参加、不参加を選択しているので1山行では5～10人ほどのパーティになっています。各会員は経験豊富であり、山を十分に楽しむために気を配ってくれます。

学生の皆さんには、学生の間だけと言わず、生活者として長く山と向き合ってほしいものです。その出会いや入口としての役割を果たすものとして、私たちの「福島登山サークル」は皆様を待っています。

「空想登山」

具体的に空想登山をしてみましょう。

昨年4月に登った西会津町「須刈岳」です。概略値で示しています。

当日は放送大学の駐車場に集合します。会津の山なので、7:00集合とし、人数にもよるが車は1台または2台になる。

7:00集合--7:10出発--9:00登山口着、登山開始--11:20登頂
昼食--12:00下山開始--13:30下山--14:00温泉--15:00郡山へ
--17:00郡山駐車場

入会はいつでも可能です。お試しでの登山参加も歓迎です。

入会希望・問い合わせ先：

会長 高橋八重子 TEL/FAX024-944-8342
幹事 斎藤 芳久 TEL/FAX024-546-8676 携帯080-1809-0046
e-mail : saito-y@chive.ocn.ne.jp



令和5年4月 西会津町「須刈岳山頂」にて